



# ブックンだより

2016年9月号

## ブックンが来る日

9月7日、9月21日

清和保育園→横武小学校→合岩小学校→合岩中学校→清高保育園

9月8日（9月22日は運休）

宇島保育園→宇島小学校→さくら乳幼児園→三毛門小学校→りとるばんぷきんず

9月9日、9月23日

ちづか保育園→千束小学校→恵光園→八屋小学校→みのり保育園

9月14日、9月28日

ほほえみ保育園→黒土小学校→角田小学校

9月15日、9月29日

わこう保育園→松若保育園→大村小学校→山田小学校

9月16日、9月30日

角田中学校

2学期が始まりました。スポーツの秋、食欲の秋

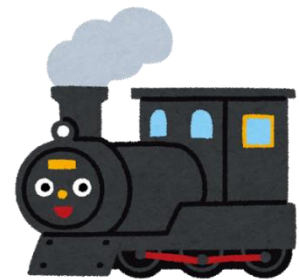
などいろいろな秋がありますが、なんといっても、

「読書の秋」。たくさん本をよんでください。

でも、どうして「読書の春」や「読書の夏」ではなくて、「読書の秋」なのでしょう。ふしぎですね。

調べてみてください。（答えはこのたよりのどこかに書いています）

夏休み中に図書館で「宇島鉄道展」がありました。むかし、宇島駅から耶馬溪までちいさな機関車がひっぱる鉄道がありました。千束中や黒土小のそばに駅があったそうです。興味のある人は図書館に聞きにきてください。



読書の秋？  
暑い夏が終わってやってくる涼しい夜。クーラーもない昔の人は落ち着いて本を読めるような夜を「灯火親しむ」と言って、喜びました。そのことを夏目漱石が小説「三四郎」で「読書の秋」として記しました。



9月の図書館カレンダー（赤がお休み）

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

# この本よんだ？（特集いっしょに考えよう！）



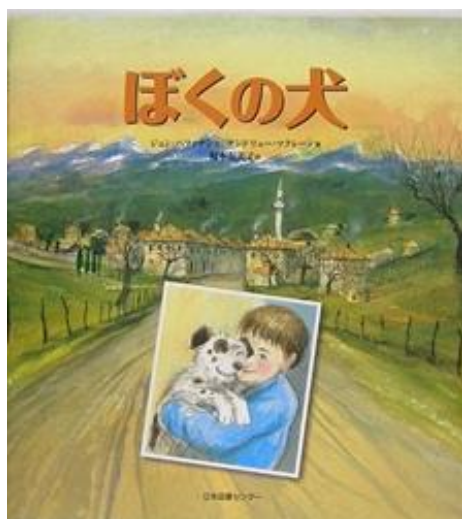
## ★貧しさ

- 幸せとまずしさの教室:一世界の子どものくらしから 石井 光太／著
- 『みんなのチャンス ぼくと路上の4億人の子どもたち』 石井光太／著

路上生活者、働く子どもたちは、世界に4億人もいる。世界の人々の半分以上が、1日200円以下で生活している。路上に住む子どもたちは、ほとんど裸のまま一日を過ごす。ドブ川の水で体を洗う。古くなった野菜などでお腹をふくらませる。

貧しくて小学校にいけない子どもは、約6000万人いる。働く子どもは、世界で1億6800万人。子どもたちは生活費のために、ゴミ拾いをする。

時間のあるときに、路上で読み書きの練習をしたり、大人に教えてもらう。飲み水は池から汲む。残飯を食べなければならない子もいる。栄養が足りず、お腹がふくれてしまう…。



## ★戦争

- ぼくの犬 作： ジョン・ハファナン／絵： アンドリュー・マクレーン  
主人公アリージャの暮らすボスニア・ヘルツェゴビナ。そこで起こった戦争。



## ★差別

- ぼくが一番望むこと 作： スーザン・クークリン  
ぼくは、朝暗いうちから仕事に出かける。朝食ぬきでお腹がなっている。でも、ぼくの望みは朝食ではない。本が読めるようになりたい。本にはぼくの知らない何かがかくされている——。ぼくの必死な望みをわかってくれたママは、ぼくに小さな青い本を渡してくれた。